

(理)科(3)学年 年間指導・評価計画

- 教科の目標 ① 自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
 ② 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 ③ 自然の事象・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

学期	月	単元名・学習内容	予定 時数	評価の観点		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学ぶ態度
1	4	単元1 化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン	9	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、原子のなり立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	水溶液とイオンについて、見直しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	水溶液とイオンに関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		第2章 酸、アルカリとイオン	9	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、酸・アルカリ、中和塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	水溶液とイオンについて、見直しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	水溶液とイオンに関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		第3章 化学変化と電池	11	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	化学変化と電池について、見直しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	化学変化と電池に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
	6	単元2 生命の連続性 第1章 生物の成長と生殖	10	生物の成長とふえ方に関する事象・現象の特徴に着目しながら、細胞分裂と生物の成長、生物のふえ方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の成長とふえ方について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の成長とふえ方に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		第2章 遺伝の規則性と遺伝子	9	遺伝の規則性と遺伝子に関する事象・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	遺伝の規則性と遺伝子に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		第3章 生物の多様性と進化	7	生物の種類・多様性と進化に関する事象・現象の特徴に着目しながら、生物の種類・多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物の種類・多様性と進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類・多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	生物の種類・多様性と進化に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		単元3 運動とエネルギー 第1章 物体の運動	10	運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	運動の規則性について、見直しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	運動の規則性に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
2	8	第2章 力のつり合いと合成・分解	8	力のつり合いと合成・分解、運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、水中の物体にはたらく力、力の合成・分解、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	力のつり合いと合成・分解、運動の規則性について、見直しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力のつり合いと合成・分解、運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	力のつり合いと合成・分解、運動の規則性に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		第3章 エネルギーと仕事	11	力学的エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、仕事とエネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	力学的エネルギーについて、見直しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	力学的エネルギーに関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
	11	単元4 地球と宇宙 第1章 地球の運動と天体の動き	12	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	天体の動きと地球の自転・公転に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		第2章 月と金星の見え方	8	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	月や金星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	月や金星の運動と見え方に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		第3章 宇宙の広がり	7	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽系と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。	太陽系と恒星に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
3	1	単元5 地球と私たちの未来のために 第1章 自然のなかの生物	6	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。	生物と環境に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		第2章 自然環境の調査と保全	8	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物と環境について、身近な自然環境などを調べる観察、実験などを行い、自然環境保全のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。	生物と環境に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
	2	第3章 科学技術と人間	7	日常生活や社会と関連づけながら、エネルギーとエネルギー資源、さまざまな物質とその利用、科学技術の発展、自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見直しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術の利用について、観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。	エネルギーと物質に関する事象・現象、自然環境の保全と科学技術の利用に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
		地域とつながる	3	日常生活や社会と関連づけながら、地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	地域の自然災害などを調べる観察、実験などを行い、自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について、科学的に考察して判断しているなど、科学的に探究している。	地域の自然災害に関する事象・現象に進んでから、見直しをもってふり返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。
終章 持続可能な社会をつくるために	5	経済活動と資源、環境を関連づけながら、生物圏の多様性の減少などを理解し、それに対する科学技術や社会的仕組みから、持続可能な社会に向けた行動判断となる科学的調査(文献調査もふくむ)の技能を身に付けている。	資源・環境の持続性について問題を見だし、身のまわりの調査活動をレポートにまとめ、科学的に考察して、持続可能な社会に向けた行動を判断している。	これまでの理科学習について進んでふり返り、持続可能な社会の実現案を出すための探究を計画し、科学的に探究しようとしている。		
合計			140			